

「女子中高生夏の学校2017 ～科学・技術・人との出会い～」 参加報告

県立千葉中学校・千葉高等学校 大橋真也

2017年8月6日(日)に平成29年度「女子中高生夏の学校2017～科学・技術・人との出会い～」(以下「夏学」)にスタッフとして参加してきましたので、そのイベントの様子の一部について報告させていただきます。

1 事業の概要

この事業は、研究者・技術者・理工系大学生との対話、交流を通して女子中高生が科学・技術の分野に自分の新しい可能性を見出すことをねらいとして、平成17年度より独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)が主催および会場として開催されています。いわゆる「リケジョ」の進路選択支援プログラムというのですが、今年で13回目を迎えます。本年度は8月5日から7日の2泊3日で行われました。参加者は女子中高生が103名、その他に保護者や教員が19名、スタッフが250名以上参加しています。スタッフは、企業、大学、学会等様々な団体や個人が参加しており、千葉県の高校の先生も何人か参加していました。

会場の国立女性教育会館は、埼玉県比企郡嵐山町にあり、10ha(東京ドーム約2個分)の敷地内に本館、宿泊棟、研修棟、茶室、テニスコート、体育施設などが多くの緑に囲まれてあり、環境のよい場所でした。3日間のプログラムを簡単に紹介します。

1日目 8月5日(土)

- 開講式
- サイエンスアンバサダー「自分の将来について考えよう」
- キャリア講演
- 学生企画「シェアトーーク」
- 学生企画「サイエンスバトル」
- 進学懇談会
- 天体観望会

「サイエンスアンバサダー」は、この「夏学」のOGで、この夏の学校を修了すると参加者はサイエンスアンバサダーとなります。また生徒は各5～6人のグループになり、それぞれ「オイラー」や「ラザフォード」などの科学者の名前をグループ名として参加しています。

学生企画は、多くが「夏学」のOGで大学の理工系分野に進んだ女子大生が中心となり企画しています。

2日目 8月6日(日)

- サイエンスアドベンチャーI「ミニ科学者になろう」
- サイエンスアドベンチャーII「研究者・技術者と話そう」
- 学生企画「Gate Way」
- 学生企画「キャリアプランニング」

サイエンスアドベンチャーI「ミニ科学者になろう」では、1人最低2項目の実験やフィールドワークを行い、様々

な経験をしてもらいます。日本数学会では、組紐の数理についてのワークショップを行っていました。



サイエンスアドベンチャー II「研究者・技術者と話そう」では、各学会や理工系企業の研究者のポスター発表などを聞き、スタンプラリーの様な感覚で様々な分野に触れます。上の写真は、私のブースに来た生徒との様子です。コンピュータを使って数学の問題を解き、正解者には賞品を与えるクイズコーナーを担当していました。



学生企画「Gate Way」では、様々な分野の研究者とフリートークを行いながら、自分の理工系への興味を高めます。上の写真は、私も参加した数学分野での様子です。20分程度フリートークした後、生徒は、別の分野の話聞きに行きます。数学分野も話しに来る生徒が途絶えませんでした。「数学をもっとできるようにするための勉強法」や「数学科に進んでどのような就職が考えられるのか」など様々な質問や議論が交わされました。

3日目 8月7日(月)

- キャリアプランニングポスター発表会
- 学生企画「夏学振り返りと表彰式」
最後に女子中高生の参加者たちが「サイエンスアンバサダー」に任命されます。

イベントの様子は、国立女性教育会館のWebで写真とともに公開されています。

2 イベントの感想

今回初めてこの事業に参加させていただきましたが、参加した生徒の生き生きとした姿が印象に残りました。数学や理科の大好きな女子中高生が全国から集まり、学生TAも含め、3日間交流し、自分の今後の進路選択を考える。この夏の学校で出会った生徒たちはこのイベントが終わったあとも連絡を取り合い、繋がっていくそうです。このイベントのOGの何人かの学生も、その良さを熱く語ってくれていました。

3 終わりに

このイベントでは学生TAだけでなく、学者や学会関係のスタッフも力が入っていました。理工系人材を広げていくために重要なイベントであることを深く認識しているでしょう。



スタッフ集合写真